

# サンディエゴ日本人教会トピックス【2019年2月】

お正月気分も去り、新しい風に乗って進む2月となりました。サンディエゴではこの時期はレーニング・シーズン（雨季）と呼んでいます。寒さも加わり雨が降り、雨のドライブになれないサンディエゴの人達の路上では、交通事故を起こしやすく、あちらこちらで事故車を見ます。

雨季と言っても日本のような雨季ではなく、晴れた青空の日もあり、やや風はつよく身の引き締まる寒風を感じるうす曇りの日もあり、雨になる雲模様の日や、ほんの少しだけ降る日もある程度です。でも2月も月末になると、早や初春を感じ、3月に入ると素晴らしい青い空が晴れ晴れと広がっている今日この頃です。

その後、皆さんいかがお過ごしでしょうか。神様の豊かな祝福をお祈りいたします。

今月のトピックスは次のものを掲載いたします。

1. 婦人会でのお証：コラネリ美佐子姉
2. 教会及び婦人会の緊急連絡網
3. 礼拝メッセージのライブ映像

## 1. 婦人会でのお証：コラネリ美佐子姉

2月17日(日)サンディエゴ教会の婦人会では、礼拝後に恒例の婦人会がもたれました。司会者の賛美から始まり、役員の方々からの報告に続き、証し者が立てられました。今月は来る夏期修養会のテーマである「こおんな旅がしたい！」に関する証をして頂きました。

## コラネリ美佐子姉

今年の新年聖会、夏期修養会のテーマは、「こおんな旅がしたい！」です。はじめに、新年聖会にていただいた恵みをシェアさせていただきます。講師としてお迎えした福迫（フクサク）徹也先生は、イザヤ書43章から、人生は勝手な道を進むのではなく、神の栄光に向かって生きること、また、きよめが必要であり、主の愛に生きそれを伝えることであると言われました。

人が成長するにつれ、自分で物事を考え判断して選んだ道を進むことは、ごく自然なことと思われれます。すると、その人の持つ判断の基準が重要になります。神を知らない時は、飽くことのない欲を満たすために生きたり、虚しい夢を追い求めたり、大切な人のために、または周りに認めてもらおうと努力したり、善人になろうと修行を積んだり、中には、挫折して目標を失いながらもなお生きる人生などなど、人の数ほど様々な人生があります。そういった人生も、恵みにより神様の愛を知った時、人生は自分だけのものでなく、神の栄光のために生きる目的があることを知り、唯一無二の生きがいある人生に代えられることができます。

賛美や、祈りの中でよく神様の栄光だけが現れることを願います。そして、栄光とはなんですかと聞かれることがあります。知っているようで、実質上、イマイチしっかり掴んでいない感じが残る言葉です。それもそのはず、輝かしい誉と言っても、限界のある罪人の私たちが、とこしえに全く聖なるお方、愛と誠なる神様にだけある栄光を言葉にするとき、当然ながら足りなさを覚えてしまいます。

また福迫先生は、神の栄光という目的がいつの間にか自分の考えにすり替わっていないかとも言われました。これは陥りやすい問題だと思います。私は、神様をもっと知り、もっと親しくなりたくて、一人の時も、兄弟姉妹と聖書の学びや祈りを捧げることができる恵みを感謝しています。自分ではどうすることもできない罪人の私は、神の御子イエス様の十字架の贖いによって、信仰によって、神様から受けるべき罪の罰から救われました。私が何一つ償いに貢献することなく、ただ信じて戴くだけの救いです。

福迫先生は言われました。普通、タダのものは安っぽくも思えますが、実は、救いのコストは高すぎて、誰一人として自分の力で手に入れることができないから、タダなのですと。私の罪の深さは、クリスチャン人生を歩むにつれ限りなく示さ

れてきました。と同時に、十字架の贖いの尊さをますます深く実感しております。ハレルヤ！

夏期修養会の講師は、豊田信行先生が予定されています。一昨年、大倉先生が礼拝メッセージで、豊田先生の執筆された本、「父となる旅路」について触れられました。私は、どちらかと言えば、父親心理に関心を持ってその本を教会図書より借りて読み始めました。ところが、簡単に読み終えそうにないので、一冊購入してゆっくり読みました。



いのちのことば社

序章では、日本人の救霊に燃え、若くして召された伝道者のお父さまとの数少ない思い出や、周りの人たちから聞かされる理想化されたお父さまの姿の間で、子として、また父として模索されたことが記されています。

豊田先生のお言葉を引用すると、「彼は殉教者のごとく天に凱旋した。しかし、父の死は、残された家族にとっては悲劇的な死でしかなかった。父の死を信仰的にどのように受け止めるべきか、残された家族につきつけられた重い課題であった。私自身も神の摂理を悟るまで、長い信仰の冬を過ごすことになった。人は自分の人生に対して夢を持つ・・・父の突然の死は、幼い私の心に暗い影を落とした。父という大きな存在を失ったことで、未来は希望の輝きを失った。しかし、父のいない寂しさは、父なる神への

の渴望を生み出した。」

この結びから、良いことが待っているのを感じ取れる一方、19ページから成る序章を読んで、声なき慟哭を聞いた切ない思いで、私は本を置き、家事をしていました。

先生が子を持つ親となった時、描いてきた理想的な父親として子供に接すると、結果は必ずしも期待したものではありませんでした。そして、先生の父としての

あり方への探求は、旧約聖書の中の親子関係の失敗例や、父なる神の愛をあらわす放蕩息子のたとえ話などを見ながら、真理へと導かれていきます。

私は、数ページ読んでは引用されている聖書の箇所の前後を読み返したり、深刻な内容に重苦しくなると他のことに切り替えたり、時には何日も本に戻らなかったりしながらゆっくりと読み進めました。引用された失敗例の一つに、ダビデと彼の子供達との関係があります。（第二サムエル記13章）私が初めてこの箇所を読んだ時、ええっ、なんと酷いことを！ 宮殿に住む人も民家に住む人も同じ、あゝ、ダビデたちもなんと哀れな家庭崩壊にと思いながら、当時の女性の弱い立場から、犯されたタマルはどんなに嘆き苦しんだことか、その後彼女は怎么样了のかと思いを馳せました。

豊田先生は、登場する男性の一人ひとりの思いと行動の裏側を分析されて細かく記されています。ダビデの理想的な父親としての失敗のポイント、怒り、人間の義の限界、息子たちの死をもたらし、ダビデを悲惨な嘆きの極みに追いやった原因を隅々まで見つめるかのように読んでいくうちに、私は次第に私と母、私と娘との関係を重ねていきました。

「あなたは正しすぎてはならない。知恵がありすぎてはならない。なぜあなたは、自分を滅ぼそうとするのか」伝道者の書7：6

私は三人姉妹の長女として生まれました。妹が生まれるまでの三年間は、母の愛を独り占めにして母への愛と信頼がしっかりと育っていました。妹が生まれ、私自身も成長して、周りを見て自分で物事を判断するようになると、愛しながらも母を批判的に見るようになりました。私が母親になったらあのようなことはしない、私が大人になったらこうするんだ、母には分かってもらえない、言えば母を責めることになる、古い日本と新しい日本が共存した時代に育った私は、親には口答えしないことを良しとして、不当に叱られて傷ついた時も母に言い返さず、いい子を装っていました。母が言うように自尊心が高い私は、勉強を口実にして次第に心の中で母から距離を置くようになりましたが、このようなことは、心の奥深く残ります。そして、今は成長した自分の娘から、私がどんな母親だったかを言われて、真剣にクリスチャンの母親をしてきたつもりのは、一人で大きくなったようなことを言っていると、腹をたてるのです。私もあの時、正直な気持ちを言っていたら、母は私に同じことを言ったことでしょう。

訪日中に、私の眼の前で母は狭心症で倒れ心肺停止になり、生命維持の機械をつけて意識不明の状態入院し、回復の見込みのないまま時間が過ぎて行きました。私は、母の身の回りの整理を始めました。すると、タンスの引き出しの奥から、湿っぽい一枚のカードが出てきました。見るとそれは、その時から15年ほど前に送った母の日のカードでした。それには、私の母への感謝の気持ちが書いてありました。母の恩は、私が一生かけても返すことができないほど大きい、だから、私は、母が私にしてくれたように、私の子供たちにしていきますと。私は、コミュニケーションできなくなってしまった母が私を赦し、私の思いを受けとめてくれていたことを知りました。

先日、youtubeで、浪曲の森の石松が出てきたので聞いてみました。日本でテレビが発売になったのは、私が中学生になった時でした。それまでは、ラジオや蓄音機（わかりますか）が家庭の主な娯楽でした。父は晩酌をしながら、ラジオで浪曲を聞き、私も一緒に真似て唸ったりしたものでした。広沢虎造の、旅ゆけば～を耳にして、あまりの懐かしさに涙が溢れました。

私が母に、父から叱られた記憶がないという、それは父がいなかったからだと言われたほど、私が子供の頃の父はよく留守をしていました。私が子育てに忙しかった頃は、軍にいた主人も留守がちでした。当時は、ベトナム戦争の最中で、12ヶ月間いない時もありました。長い上半期が過ぎる頃に、ようやく峠を越えたという思いがしたものです。私は父親にはなれませんが一人二役を務めました。教会はもちろんのこと、地図を片手に、ヨセミテやグランドキャニオンへ旅行したり、息子をリトルリーグや空手道場へ、娘達をソフトボールやバレーボールへ、美術館、博物館、バレーの鑑賞や、誕生日会をしたり、子供たちを守りながら私が理想とする親として励みました。それでも、私はどこかに負の遺産を残しています。今、一生懸命に母親をしている娘も、いつか孫たちから同じことを聞くかもしれません。幸いにも、たとえどのような環境に育っても、神様の完璧な愛のみ手の中にいるならば、その時にこそ初めて、両親の愛を合わせてもなお余りある愛を一身に受けることになり、傷は癒され感謝にかわることでしょう。そしてそれは、その人だけが持つ神様の輝きを映す資質とかえられる特権となるかもしれません。

私は、面白いソックスが好きで、時々それらを履いては一人で楽しみます。今履いているピンクのソックスには、"I love being me."と書いてあります。こんな自分を愛していますとでもいいでしょうか。イエス様は、私がまだ罪人だった時に、十字架にかかってくださいました。神様の方から一方的に私の救いの贖いを成就

してくださいました。神様の愛は、そのままのわたしを受け入れてすべて赦してくださいました。私はそのような神様の愛に生きたいと願います。そして、イエス様が愛してくださるように、私自身を愛したいと願います。それは、私の好きなようにするというのではなく、天に行く日まで未完成の私をそのまま受け入れて、今朝の大倉先生のメッセージにあった、神様の愛ゆえの制約の中にある本当の自由、バランスよく愛と誠をもって自分に寄り添うことです。そして、同じように家族と周りの人たちにも接していきたいと願います。神様、助けてください！

あの時代の日本のあの社会で、あの両親の元に命を与えられて育った。この選択に私は何一つ関与しなかった。全て、神様が備えてくださったことです。今、それがとてもありがたい。あのままの母がいい、あのままの父がいい。叶わぬことですが、この歳になってお話ができたなら、たとえできたとしても、当時の人達らしく耐え忍んで不平不満はあまり言おうとはしないでしょうが、私よりもはるかに多く苦勞した父母をもっとよく理解し勞わり寄り添うことができるのではと、彼らを思うと、とてもいとおしくなります。

「理想的な父親でなくていい！」 終章では、境界線概念との出会いが、子どもとの向き合い方に健全な影響を与えてくれたと記されています。ここで言われている境界線は、一昨年の夏期修養会で、講師のお一人としてお越しくくださった、中村佐知姉が翻訳された Boundaries の姉妹版、「聖書に学ぶ子育てコーチング」です。

7月の修養会が楽しみです。豊田先生を通して、神様は私に何を語ってくださいましょう。御心ならば、そこでも主を仰ぎたいと思います。

「父となる旅路」との出会いが、私自身の癒しにつながるには想像もしていませんでした。この恵みを心より主にあって感謝いたします。ハレルヤ！ 終わりに、クリスチャンの詩人、高見順の詩をシェアさせていただきます。

### 「われは草なり」

われは草なり伸びんとす 伸びられるとき伸びんとす  
伸びられぬ日は伸びぬなり 伸びられる日は伸びるなり

われは草なり緑なり 全身すべて緑なり  
毎年かわらず緑なり 緑のおのれにあきぬなり

われは草なり緑なり 緑の深きを願うなり  
ああ生きる日の美しき ああ生きる日の楽しさよ

われは草なり生きんとす 草のいのちを生きんとす

## 2. 教会及び婦人会の緊急連絡網

昨今緊急を要するお知らせが沢山あります。そんな時とても役に立つのが緊急連絡網です。コンピューターのある方、電話の方々それぞれですが、ニュースがすぐ伝わる大切さは、とてもありがたいことです。多くの事に役に立っていて、教会全体の人々が同じ心を持ってそのことに心を注ぐことが出来とても便利で皆さん感謝しています。

特に祈りのリクエストが多く、ご病気の方、その後のご様態、入院先、長期入院されておられる方とか、退院されてその後の容態、癌治療されておられる方々のご様子とかが良くお知らせ頂き、祈りが逐次教会全体に流れ、お知らせいただいています。そして、癒されつつある方々、癒されて家へ帰られた嬉しい知らせもあります。

今の時代コミュニケーションがとても大切な時代なので、間違いのない通達が教会全体のことが、全員に知らされ把握されることは、何とも素晴らしい祈りの輪が出来ます。

陰にあって尊いお働きをされる大倉信牧師を始め、教会、婦人会の連絡係の方々の尊いお働きを心より感謝いたします。

### 3. 礼拝メッセージのライブ映像



サンディエゴ教会では、毎週の礼拝メッセージをインターネットのポッドキャストで聞いたり、ライブ映像で見たり、メッセージの全文を読んだり、色々な方法で礼拝に参加する事ができます。

アメリカにお住まいで日本語メッセージを聞けない地域の方々、日本や、他の国々にお住まいの方々、そして旅行や健康上の理由で当日教会へ行けない時などは、とても便利です。スマホやコンピューターのインターネットから、何時でも、何処にいても、自由に教会ウェブサイトの日本語ページからご覧いただけますので、どうぞお試しくださいます。

●ライブ映像米国太平洋時間 (Pacific Time) 9am

<https://boxcast.tv/channel/qcoczgsn02ddnmssdj9>

●教会ウェブサイト【日本語ページ】 <https://www.sdjcc.net>

●ポッドキャストで聞く <http://sdjccjp.podbean.com>

●全文を読む「世俗牧師宣言」 <https://www.sanbi.us/pmac/>

ラッドとし子